

強者の戦略

こんにちは、世界史の北林です。今回は京都大学の問題を扱います。といっても、京大の定番である第1問や第3問の300字論述問題ではなく、シンプルな短文での説明の問題を取り上げてみたいと思います。京大に短文の出題があるの？と思う方もいるかも知れませんが、第2問や第4問に「簡潔に説明せよ」という問題がよく出題されていることを知っていたでしょうか。用語問題が目につきますが、必ず数問はこうした1～2行程度で説明する問題があります。しっかり教科書や用語集などで確認している人ならそこまで困ることはないと思いますが、一度やってみましょう。

【京都大学 2020年 前期 第2問・第4問より】

2020年

第4問

A(7)この会議(コンスタンツ公会議)の結果について簡潔に説明せよ。

(8)この制度(エンコミエンダ制)について簡潔に説明せよ。

B

(12)(イ) それ(「キープ」)はどのようなものであったか、簡潔に説明せよ。

(15)キリル文字が考案された宗教上の背景を簡潔に説明せよ。

(16)この関わり(16世紀のドイツにおいて、宗教改革が諸侯だけでなく民衆のあいだにも支持を広げた背景には、こうした技術発展が関わっていた)の内容を簡潔に説明せよ。

こういう短い文章といえば東大や阪大で出題されるイメージがありますね。東大志望や阪大志望の方もぜひ挑戦してください。